

令和7年度 事業報告

令和7年度は、令和8年度に創立60周年を迎えるにあたり、新しい時代への準備の1年になった。

これまで先人が築き上げた歴史と伝統を引き継ぎつつ、新たな公益変更認定により大きく変化した環境に対応し、国民の健康増進と支部の活動支援に取り組む新たな体制づくりを行った。

また、令和7年11月には、第70回予防医学事業推進全国大会を、東京都支部との共催で開催し、この先も本部支部一体となって、国民の健やかな生活の根本となる予防医学の重要性と我々の持つ使命の重さを共有した。

主たる取組み

- 1 第70回予防医学事業推進全国大会を東京都支部と共催で、東京：オークラ東京で開催し、厚生労働省、文部科学省、日本医師会等多数の関係者と支部役職員計200名が参加した。
- 2 新たな時代への準備として、ホームページと機関誌のリニューアル等に取り組み、令和8年度当初からスタートできるよう諸準備を行った。
- 3 平成25年度から取り組んでいる宝くじ助成事業では、栃木県支部に乳房デジタルX線検診車を、島根県支部に胃部デジタルX線検診車を配車することができた。(通算27台配車)

I 予防医学事業

1 予防医学に関する広報活動、健康に関する知識の普及・啓発事業

(1) 出版物の発行、配布活動

① 機関誌「予防医学ジャーナル」の発行

年5回（うち論文集1回）発行した。

② 生活習慣病予防に関するリーフレットの製作管理受注委託

小冊子「子どもの生活習慣病と健康づくり」の製作管理受注を一般社団法人日本家族計画協会に委託し、第2版を発行した結果、52,433部を受注した。

(2) ホームページによる情報提供活動

従来どおり以下の活動を継続しながら、より迅速的確に情報提供ができるよう新ホームページの開設の準備に取り組んだ。

① 国及び関係機関から発せられる情報の提供

厚生労働省、文部科学省や日本医師会等から発せられる情報（通知や審議会傍聴等）をわかりやすく整理し、遅滞なく配信した。

② 支部間及び関係機関との情報交換・意見交換の場の提供

ホームページ内に「情報ランド」コーナーを設置し、支部間及び関係機関との間で情報交換と意見交換を活発に行い、正しい情報の共有化に努めた。

2 健診に関する調査研究事業

(1) 国民の健康啓発のための講演会及び研究会等の開催

① 予防医学事業推進全国大会の開催

ア) 開催日

令和7年11月7日

イ) 開催場所

東京都 The Okura TOKYO（オークラ東京）

ウ) 大会テーマ

予防医学への想いを繋ぐ、未来へ継ぐ ー挑戦は70年の轍のその先へ

エ) 記念特別対談

「人生100年時代の自分さがし」

ものまね漫談

山田邦子 氏

日本家族計画協会会長（産婦人科医） 北村邦夫 先生

カ) 厚生労働大臣表彰（受賞者）

公益財団法人茨城県総合健診協会	常務理事・事務局長	金澤秀房 氏
公益財団法人東京都予防医学協会	専務理事・事務局長	前田秀喜 氏
公益財団法人神奈川県予防医学協会	専務理事	北見 護 氏
公益財団法人静岡県予防医学協会	専務理事・健診センター事務長	加藤吉隆 氏
一般財団法人京都予防医学センター	常務理事・事務局長	家田健司 氏
公益財団法人予防医学事業中央会	専務理事	中野厚夫 氏
公益財団法人予防医学事業中央会	理事・事務局長	下村泰久 氏

カ) 中央会表彰(受賞者)

・感謝状(国井記念賞)

公益社団法人東京都教職員互助会三楽病院 臨床検査科部長 東條尚子 氏

・予防医学事業中央会賞(小宮記念賞)

公益財団法人岩手県予防医学協会 常務理事・事務局長 鈴木和彦 氏

公益財団法人東京都予防医学協会 健康増進部長 加藤京子 氏

公益財団法人神奈川県予防医学協会 常務理事・事務局長 新保文樹 氏

・奨励賞

26 支部 32 名の中堅職員

② 予防医学事業推進各地区会議の開催

- | | | | |
|-------------|-----------|------|------------------|
| ・東北地区会議 | 10 月 23 日 | 福島市 | ウェディング エルティ |
| ・関東甲信越地区会議 | 11 月 28 日 | 宇都宮市 | 栃木県総合文化センター |
| ・近畿東海北陸地区会議 | 12 月 11 日 | 神戸市 | ANA クラウンプラザホテル神戸 |
| ・中国四国地区会議 | 12 月 5 日 | 鳥取市 | ホテルモナーク鳥取 |
| ・九州地区会議 | 10 月 17 日 | 那覇市 | オリオンホテル那覇 |

③ 全国予防医学技術研究会の開催

ア) 開催日

令和 8 年 3 月 5・6 日

イ) 開催場所

山口県山口市 かめ福オンプレイス

ウ) 研究会テーマ

「新たな予防医学技術の向上をめざして」

エ) 研究発表

62 題

カ) 優秀賞(受賞者)

・公益財団法人香川県予防医学協会 山地美佳 氏ほか

・公益財団法人栃木県保健衛生事業団 小澤 悠 氏ほか

(2) 生活習慣病予防等についての調査研究

① 健診検査精度管理の調査研究

全国支部が行っている日常検査データと日本医師会精度管理調査の結果の集計を行い、解析して「令和 6 年度精度管理事業報告書」にまとめ公表した。

② 学会や関係機関との調査研究

タンデムマス法による先天性代謝異常検査の共同開発システムの運用管理に係る検討と拡大検査項目導入の意見交換と情報共有を行った。【継続】

3 健診の実施体制と精度管理の維持向上の支援事業

(1) 研修事業

① 全国業務研修会の開催

ア) 開催日

令和 8 年 2 月 12・13 日

イ) 開催場所

千葉県浦安市 浦安ブライトンホテル東京ベイ

ウ) 講演

「循環器病の基礎知識」

公益財団法人ちば県民保健予防財団

常務理事・総合健診センター副センター長・県庁健康管理クリニック長

角 南 祐 子 先生

「保健事業の一層の推進」について

全国健康保険協会 本部 保健部 保健企画グループ

グループ長 併任 システム部 IT 戦略推進室 副室長

園 川 太 郎 氏

② 全国情報統計研修会の開催

ア) 開催日

令和 7 年 8 月 28・29 日

イ) 開催場所

三重県津市 ホテルグリーンパーク津

ウ) 全体討議

「サイバーリスクと AI 変革時代を生きる：私たちの健診業務はどう変わる」

③ 保健指導研修会の開催

ア) 開催日

令和 8 年 2 月 19・20 日

イ) 開催場所

東京 ルーテル市ヶ谷センター

ウ) テーマ

第 4 期特定健診・特定保健指導の実施状況と課題について

エ) 講演

「第 4 期特定保健指導における成果の見える化」

浜松医科大学 医学部看護学科 地域看護学講座

教授 渡 井 い ず み 先生

④ 生化学研修会の開催

ア) 開催日

令和8年1月29・30日

イ) 開催場所

東京 保健会館セミナールーム

ウ) セミナー

「検査のピットホール」

エ) 講演

「健診業務での検体検査室における臨床検査技師の役割」

予防医学事業中央会 技術委員長

東京都教職員互助会三楽病院 臨床検査科部長

東條 尚子 先生

(2) 健診検査データの精度管理事業

精度管理専門委員会を中心に事業参加施設から毎月検査データ収集。さらに管理資料を用いての調査を行い、評価基準を満たした施設に認証書を発行した。

(3) 検診車整備推進事業

一般財団法人日本宝くじ協会の社会貢献広報事業に検診車助成を申請し、2支部に検診車を配備した。

・公益財団法人栃木県保健衛生事業団

乳房デジタルX線検診車

・公益財団法人島根県環境保健公社

胃部デジタルX線検診車

2 法人運営

1 理事会等

(1) 理事会

年5回開催

(6月5日、6月20日、7月25日、10月24日、3月27日)

(2) 評議員会

年2回開催

(6月20日、8月26日)

(3) 業務執行理事会

年4回開催

(6月2日、7月18日、10月3日、2月26日)

2 委員会等

(1) 企画委員会 年2回開催(7月14日：東京都、11月6日：東京都)

・常任企画委員会(年4回開催：東京都)

- (2) 技術委員会 年 1 回開催（3 月 4 日：山口市）
 - ・ 常任技術委員会（年 2 回開催：東京都）
- (3) 公益事業を企画運営する委員会
 - ① 学術委員会（調査研究事業）
 - ア) 優秀賞審査委員会（4 月 25 日開催）
 - イ) 精度管理認証事業専門委員会（6 月 30 日開催）
 - ② 研修委員会（研修事業）
 - ア) 業務研修専門委員会（11 月 26 日、12 月 18 日、2 月 6 日開催）
 - イ) 情報統計研修専門委員会（5 月 9 日開催）
 - ウ) 保健指導研修専門委員会（10 月 20 日、12 月 2 日、2 月 9 日、3 月 16 日開催）

3 会議等

- (1) 全国運営会議（年 2 回開催：7 月 14 日：東京都、11 月 6 日：東京都）
- (2) 技術運営会議（年 1 回開催：3 月 5 日：山口市）

4 関係機関との連携

- (1) 健診団体中央本部等との連携

結核予防会、日本対がん協会、全国厚生連、全国労働衛生団体連合会等と意見情報交換を行った。

3 団体（結核予防会・日本対がん協会）連絡会議 年 1 回（10 月 15 日）
- (2) 特定健診・特定保健指導の集合契約

日本医師会及び健康保険組合連合会等関係機関が実施する特定健診・特定保健指導に関して、全国支部をまとめて集合契約を締結した。

5 安定的運営基盤の整備

- (1) 情報発信等の事業再編準備

新しい時代に対応すべく、中央会ホームページと機関誌のリニューアルに取り組んだ。ホームページは令和 8 年 4 月から、機関誌は令和 8 年度初号（7 月号）から新たな形となる。
- (2) 安定経営の基盤整備

安定的な収益を得るため、賛助会員制度を改編し新年度からの拡大基盤を整えた。また令和 8 年度から産業医研修会を新たに開始すべく関係機関（東京都医師会等）に機関認定を申請した。
- (3) 法人規則等の整備

法人組織、職員給与及び旅費、中央会各種委員の交通費、医学研究の利益相反等の規則を整備し、経営基盤を整えた。